



名古屋芸術大学リベラルアーツ総合研究所
「教養と芸術」第1回研究会

「リベラルアーツ——視覚をめぐる諸相」

名古屋芸術大学で2017年4月に創設された芸術学部芸術教養領域、その研究部門として併設されたリベラルアーツ総合研究所は、教養と芸術について学際的な視点から、社会との接点を自覚しつつ、ひろく研究を進めます。今日の教養とは何か？ 教養が語るべき事項であるとしたら、それはどのような意味においてか？ その補助線として（広義の）芸術を想定できるのか？ 等々といった、教養と芸術に関する諸課題を、具体的な事象を通して議論します。その第1回の研究会を「リベラルアーツ——視覚をめぐる諸相」のテーマで開催します。初日は6件の研究発表、二日目は東日本大震災と地域の交流にかかわる施設の見学です。ぜひ、ご参加ください。

主催：名古屋芸術大学リベラルアーツ総合研究所

会期：2018年1月13日【土】-14日【日】

会場：せんだいメディアテークほか

登録：不要

参加：無料

問い合わせ：名古屋芸術大学芸術教養領域インフォメーションセンター 0568 22 0123/nua_la@nua.ac.jp

プログラム

1/13【研究発表】

セッション1（座長 茂登山）

早川知江「絵本と音」13h10-13h50

水谷仁美「記憶/記録のかたち——震災から7年をむかえ」（仮）13h50-14h30

竹本圭吾「東日本大震災からの商店街の復興について」14h30-15h

セッション2（座長 早川）

荘司陽太「サービス企画職から見るLINEの本質」15h20-15h50

稲垣拓也「集団でのクリエイション—WOWの事例より」15h50-16h20

茂登山清文「教養の図、芸術教養の図」16h20-17h

1/14【仙台市内諸施設見学】

メディアテーク館内+わすれん！

→ 震災遺構荒浜小学校と周辺の散策（海辺の図書館，スケートパークCDP，佐竹真紀子さんの偽バス停）

→ せんだい3.11メモリアル交流館（荒井駅コンコース内）

→ 東北リサーチとアートセンター TRAC